

# みんなの 声 ひろば

## 命名の儀に思う



前田 文雄

(下田中2区)

ご夫妻の願い「悠」に込め「悠仁」さまと命名された。偶然にも長女の名は「悠里」。「悠」という文字のもつ意味である「ゆったりとした人生」という願いに、意を同じくしたことを光榮に思います。

また、「慈しみの心を持つ」という意味がこめられた「仁」。弱者への慈しみや哀れみだけではなく、動物や虫や草木なども含め、生きとし生けるもの全てと共に生きる謙虚で、優しく、強い気持ちです。その心があつて

はじめて和と平等の精神が築かれるのでしょう。国際社会では、宗教間の価値観の相違から紛争が絶えない。日本でも、お互いの違いを認めることができないから、あらゆる差別が無くならない。ではどうすれば良いのだ

ろうか。親を尊敬し、親子が愛し愛され、価値観を共有し合うことが大切だと思えます。ご夫妻の願いは、私たちに発信された、メッセージなのかも知れない。

## 保育所役員をして



中原美由紀

(あずみの郷)

初めは嫌々だった役員でしたが、4月の役員会で他の役員さんと話もはずみ、いつの間にか役員会がひとつのサークルのようになっていきました。役員の役決めはなかなか決まらず「あみだくじ」で決まった会長2人でしたがお互い助け合い、それを支えてくれた8名の

役員さんたちのおかげで、行事の内容を決める役員会も話がスムーズにまとまり、何より先生と役員さんとの連携もそれ無事半年が過ぎました。今年役員になった人が「今年のメンバーで役員になって良かった」と言ってくれる人もいました。役員の仕事も大部分が

終わりましたが、子どもたちが元気で楽しく保育所生活を過ごすことができるように、先生と連携を取りながら、残りの半年も今のメンバーで協力し合い、最後までがんばって役員をやりとげたいと思えます。

## 梶原ほえみ会 (元気になる会)



(梶原)

真島 悦代

高齢者が地域で生き生きと生活できるよう、梶原部落でこの会を始めて4年半が経過しました。60代〜90代まで20人余りの集いです。内容は簡単な体操をし、テーマソングを歌ったり、牛乳パックを利用した小物入れ、古布利用のゾウ

り作りなど色々です。時には手づくり石ケン、ゴキブリだんごも作ります。また、調理実習を組み、子ども会を招いて作品展を開いたり、ふる里まつりにも出展しています。町からの補助金が新町になって一度なくなりましたが、町長さん、福祉

保健課長さんの支援で再度対象にしていたくださいます。ありがとうございます。会員の方々に会おうと今度はいつですかと待つておられます。今後とも人と人をつなぎ、健康で温かな町づくりに頑張りたいものです。

## あとがき

秋も深まり大山の紅葉が美しい季節になりました。天気の良い日は紅葉狩りにでも行きたいですね。

先日、地元作家伯耆坊俊夫さんが書かれた「小説・豪円和尚」の出版記念会に行ってきました。

大山寺で修行し、信長に焼かれた延暦寺を再興した高僧豪円にまつわる話や、妻木から文武天皇の妻となった玉清姫の話などを知り、改めて大山の歴史の奥深さを知りました。

様々な「大山の恵み」いつまでも大切にしていきたいですね。

(近)

## 《広報委員会》

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 西山富三郎 |
| 副委員長 | 岡田 聡  |
| 委員   | 遠藤 幸子 |
| 委員   | 吉原美智恵 |
| 委員   | 西尾 寿博 |
| 委員   | 近藤 大介 |